

西部地区労連ニュース

労働会館夏まつり盛大に開催

夏まつり実行委員会は、8月26日に「労働会館夏まつり」を開催しました。夏まつりは労働会館の維持発展を指して毎年開催されています。開館9年目を迎えた労働会館に35名が集いました。



ニュームーン 高橋万記子さんと浦さん

乾杯のあと、浦さんと高橋万記子さんのニュームーンのお二人が「若いって素晴らし」「はじめのチュウ」など懐かしい歌を披露しました。皆で「この広い野原いっぱい」「今日の日はさようなら」の2曲を歌いました。

19リットルの生ビールと手づくり料理も盛りだくさんの中、交流を深めることができました。料理は新婦人や地域支部の方々が、てんぷら、おでん、チキン照り焼き、モツ煮、ピザ、たこ飯、餃子などを作ってくれました。



浜松関連一般労組の皆さん

実行委員長の西部地区労働会館連堀内議長は「会館運営にたくさんの方に協力いただき感謝する。皆様からの建設資金である借入金も少しずつ返済できるように努めた。これからも大切な会館を守っていきましょう」と挨拶しました。



浜松タクシー労組の皆さん

各労組・団体から自己紹介も含めて報告があり、争議状況や組織拡大も披露されました。今年も堀内さんが考えたユニークなクイズ大会もありました。てなもんや三度笠、月光仮面などの懐かしい、昭和にちなんだ問題が多く出題されました。労働会館は労組の大会や会議、学習会、交流会はもちろん、娯楽などにも安価で気軽に利用できる便利な施設です。これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

『戦争を知らない子どもたち』歌って憲法宣伝



堀内議長(左) 須部事務局長(右)

9月15日、西部地区労働会館新浜松駅前前で「憲法改悪を許さない駅前宣伝」を行いました。三連休で「街なかど真ん中祭り」が開催される中、

「力をあわせ、9条まもる」「平和憲法を、未来へ」の大型ポスターで市民にアピールしました。石川副議長のスピーチ後、堀内議長のギター伴奏で、須部事務局長が「戦争を知らない子どもたち」「がんばろう」「年金時代」を歌い、自慢のものを披露しました。

水源

お世話になった理髪店のおやじさんは昭和一桁の生まれ。戦中戦後の話を色々教えてくれた。例えば戦中は「命は鴻毛より軽し」と言われたが、それが戦後には「一人の命は地球よりも重い」に変わったと。今では「命より尊いものはない」と考える人が多いと思うが、それが普遍的な価値観などではないことは右の例から明らかだ。ウクライナやガザを見ても明らかだ。▼交通事故で毎年数千人の人が亡くなっている。かつては1万人以上が亡くなっていた。しかし交通事故死をゼロにするのは簡単だ。車の使用を禁止すればいい。しかしそんなことは到底無理だと皆が言うに違いない。これは要するに人命より車の便利さのほうが大切だと皆が考えているということだ。▼先進国で死刑制度が残っているのは日本と米国ぐらいだそうだが、刑の重軽にかかわらず、冤罪は生まれ得る。人間は不完全で間違いを犯すからだ。その一事をもって死刑制度は廃止すべきと考えるが、実現できないのは「命より尊いものはない」が建前にすぎないからに違いない。▼人間は大腸菌一つ作ることもできない。生命は人間の能力を遥かに凌駕している。これを「かけがえない」という。

ゆきとどいた教育を

子どもと教育を考える静岡県民会議は、8月31日、静岡市「あざれあ」で教育全国署名スタート集会をオンライン併用で開催しました。初めに県民会議の総会が行われ、活動報告、決算、活動方針、予算が採択されました。その後記念講演があり、各地域からの発言がありました。

誰のための「教育DX」か
子どもの最善の利益となるICT活用へ

講師：田中康寛氏（大阪教育センター事務局次長）

田中氏は欧米等の先進国の教育状況から、ICT教育の問題点を指摘し、子どもの成長と発達を大切にするためにはICTをどのように活用すべきか解説しました。

先進諸国はICT教育の見直しに転換

スウェーデンは国を挙げて教育の超デジタル化を推進し、2014年には一人一台のデジタル端末を実現し、紙の教科書からデジタル教材・学習ツールに移行しました。しかし現在はアナログに回歸し、昨年8月の新学期から紙の書籍や静かな読書時間、手書きの練習等に新たな重点を置き、ICTを活用する時間を減らしています。

学力世界一位のフィンランドでも学力の急低下を受け、全ての子どもが読み書きと計算能力などのアナログの基礎的技能を確実に習得できるよう方針転換しています。学校

でのモバイルデバイスの使用を禁止する法改正までも行っています。

ICTの教育的効果はほとんどない

昨年7月、ユネスコはICT教育について分析した「グローバル教育モニタリングレポート」を発表し、「デジタルテクノロジは補完的な役割に止め、教師との対面でのやり取りを取って代わるべきではない」とし、教師の指導性の大切さを強調しています。

ICT活用術

バレンシア大学などの研究では、紙ベースの読書とデジタルベースの読書を比較分析し、「現時点での研究では明らかにデジタルの方が劣っている。デジタルテキストと印刷テキストを比べた場合、デジタルの方が文章理解力は低い」、ICTを使うなら、資料の提示で活用するなどの補助的な方法が効果的であるとしています。

今の子どもたちはデジタル機器の利用が既に日常生活の一部になっていきます。大事なことは、こうしたAIやテクノロジに支配されるのではなく、逆にしっかりとコントロールできる力を身につけることです。子どもの発達段階を踏まえ、AIに導かれる受動的な学びではなく、人間的な自立と共同を育む能動的な取り組みと結んで、学びを広げ深めるICT活用が求められます。

日々の暮らしの

スパイス 川柳(十二)

高教組 今田久帆さん(浜松川柳社いしころ会)

逃げ惑うガザに空爆容赦なし

イスラエルが指定したガザの避難地域に、イスラエルは容赦なく空爆を続けている。それを止められない国連とイスラエルに多くの若者から非難の声が上がっている。

落ち込んだ気持ち吹っ切る明けの空

空を朝焼けに染め、次第に白み始める明けの空は落ち込んだ心をリセットし、何かいいことがあると思わせてくれる。

子の自立ただはらはらと待つ時間

子が自立するには子どもが自ら試行錯誤しながら経験を積んでいくしかない。だから親ははらはらしながら子の自立を見守っている。

胸借りた敵に秘策を伝授され

ライバルが居るからこそ、互いに競い合い高め合っていくことができる。ライバルの胸を借り、次に掛けようとしたら、ライバルから思わぬ秘策を伝授された。

脳トし漢字部首クイズ(十四)

(例) にならって漢字の部首を答えてください。解答は次号で。

- (例) 手・少・木・日・民 (目) ↓ (看・省・相・言・眠)
- (1) 侖・為・建・則・亭 () ↓ ()
- (2) 司・化・牙・正・午 () ↓ ()
- (3) 大・口・井・古・卷 () ↓ ()
- ※前号の解答 (1) 土・文・圭・身・道 (寸) ↓ (寺・対・封・射・導)
- (2) 京・者・音・免・斬 (日) ↓ (景・暑・暗・晚・暫)
- (3) 又・口・己・亡・禾 (女) ↓ (奴・如・妃・妄・委)

要求で職場 地域とつながろう 憲法改悪を許すな・平和守ろう 強く大きな地区労連を!

西部地区労連 第35回定期大会

日時: 10月26日(土) 13:30~15:30
場所: 労働会館3F

磐田市議会議員に最賃陳情書を提出

8月23日、西部地区労連は磐田市議会議員に、「最賃の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書を提出しました。



磐田市議会議員に陳情書提出

8月8日に、西部管内の市町議会事務局に陳情書を提出した際、磐田市議会事務局にも陳情書を手渡ししてきました。磐田市議会議長と副議長が陳情の趣旨を聴いて下さるということで、23日に陳情書を再度提出しました。

磐田市議会議長の鈴木喜文氏は、「郵送ではなく持参していただいた陳情書なので、陳情趣旨をしっかりと聞ききたい。議会で十分審議をしていきます」と答えました。

8月30日、西部地区労連須部事務局長は、磐田市議会議事運営員会で陳述書に対する意見陳述をしました。その後、4人の市議会議員から、「生計費原則は、どこを根拠に言っているか。」「都会は物価が高いが、一律でいい

か。」「最賃の引き上げは、中小企業への支援とセットで実施しなければ、実現できないか。」など質問が出されました。全国生計費アンケートの結果や、地元選出国會議員訪問での議員の考えなど伝えましたが、もっと最賃について

て学習を深めておけばよかったと反省しました。

【意見書の内容】

- ① 全ての働く人に人間らしい生活を保障するために、最低賃金を改正し、生計費原則にもとづく「全国一律最低賃金制度」を実現すること。
- ② 最低賃金の引き上げを円満に実施するため、中小企業・小規模事業所への特別補助を行うとともに、原材料費と人件費が価格に反映される仕組みを総合的に整備すること。

天竜エコテラス見学

9月14日、新日本婦人の会の細江班が計画した新清掃工場天竜エコテラスの見学会に参加し、浜松クリーンシステム井上雄司さんの案内で一般見学コースを見学しました。

エコテラスは、老朽化した南部清掃工場の代わりに、国の補助金をうけて浜松市が廃棄物処理・破砕処理をPFI事業(民間活用事業)として発注し、新日鉄系の浜松クリーンシステムが受注しました。施設は浜松市が所有し、維持管理と運営は浜松クリーンシステムが行っています。

高温1800度での金属類、不燃物等の処理が可能です。3階ミーティングルームと渡り廊下でつながったガラス越しの見学コースをまわり、各施設の前でその都度クリーンシステムの井上さんが説明してくれました。

エコテラスは天竜市青谷の森を切り拓き用地を造成、周辺道路工事に続き20年から本体工事に着手、今年4月に稼働しています。(シャフト炉式)を採用し、

土曜日で一部施設が稼働の無い中、プラントホームから燃えるごみピットへの搬入、3トンつかみクレーン稼働の様子が見られました。見学通路にはカーペットが敷き詰められ、小学生の見学者にも関心を持たせるタッチパネルの掲示が工夫されていました。

焼却炉はガス化溶融炉

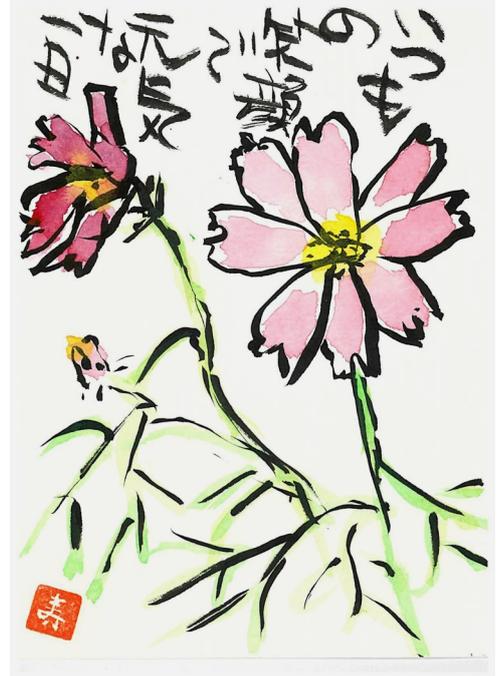
焼却炉はガス化溶融炉



天竜エコテラス1階ホールにて

家庭ごみ有料化を考える会は、ごみの関心を高める取組みを進めています。(石川)

絵手紙



年金者組合浜北支部 伊藤寿勇さん

裁判勝利・学習決起集会

日時 10月12日(土) 午後1時30分~4時
 会場 船越町: アイミテイ浜松(2F・大会議室)
 内容 ◇活動経過 ◇塩沢弁護士報告

スズキ補助金返還請求住民訴訟

2024年11月14日(木) 静岡地裁本庁 証人尋問(予定)

2コマ漫画

昭和クイズ



堀内慶一(地区労連議長) 作

映画を観て

劇場版「アナウンサーたちの戦争」を観る

23年にNHKテレビで放映された大きな反響があった番組が、大河ドラマ「八重の桜」や朝ドラ「ゲゲゲの女房」等で知られる一木正恵さんの演出で心に響く素晴らしい劇場版となった。

太平洋戦争では、ラジオ放送による「電波戦」が日本軍の戦いを支えた。声の力で戦意高揚・国威発揚を図り、偽情報で敵を混乱させた。日本放送協会とそのアナウンサーたちの戦時中の活動を事実をもとに映像化している。1941年12月8日の真珠湾攻撃

とラジオの開戦ニュースに始まり、玉音放送で終わった太平洋戦争。この両方の放送にかかわったのが和田信賢アナ(森田剛)と館野守男アナ(高良健吾)の二人。大本営からの開戦第一報を和田が受け、館野が力強く読み国民を熱狂させた。その後も勝利を力強く伝え、国民の戦意を高揚させた。やがて戦況悪化の中、和田は大本営発表を疑問視し始める。そこで学徒出陣の実況をやり遂げようと学生と語り合い、取材を深めるも、自分のしていることの罪深さに葛藤する。どうしても自分で放送できなくなった和田は、雨の中で本当はやりたかったアナウンサーを絶叫する。

森田は「役を引き受けた



時、この場面は絶対やりたいと思いましたが。すべてをぶつけるつもりで臨みました」と語っている。すさまじく胸を打つ迫真の演技だ。森田はこうも言う。「描かれているのは過去の昔話ではなくて今起こっていることと何ら変わりが無い。言葉って難しく、人を救うこともあり、傷つけることもあり」と。政治・経済・社会状況、そして、エンターテインメントの全てで今も続く「不都合な真実の隠蔽」と「不条理な大衆扇動」。マスコミ各社ごぞつての自民党の総裁選挙の報道、辞めた岸田首相をそばで支えてきた人たちが自分は何も悪いことはしていないように立ち振る舞い、憲法を変えろと叫んでいる。

劇場化を評価しつつも、日本放送協会の日々のニュースが人々に真に大切なことを伝えていくか疑問に思う。伝えなければいけないことが他にあるだろと思いつつ、チャンネルを変えたり、スイッチを切ったりしている。「言葉には力がある」というセリフから物語は始まる。力があるから魔法にも武器にもなる。どう使うかが重要だと思ふ。(笹ヶ瀬浩人)

新連載 組合員の紹介 この人

JMITU静岡西部地域支部

新組合員からの投稿

今年4月、大学の卒業にともない、浜松に就職し、6月に組合に加入しました。組合員になってから3ヶ月ほど経ちましたが、今のところ組合での活動は充実しています。労働問題の解決のために団体交渉の魅力を、私の職場でも広めていくために頑張っています。いまは、今月の秋分の日3連休に三重で開催されるサマセミに向けて、静岡県の組合の仲間たちと企画を練り上げています。サマセミでは、

東海の青年組合員が集まり、交流や学習を行います。サマセミでたくさんの方の経験を、それを今後の組合活動などに活かしていきたいと思ふます。

地区労連ニュースが

最優秀賞を受賞

9月14日、ロッキータで静岡県評第77回大会が開かれました。大会では、恒例の機関紙リンクルの表彰式が行われ、西部地区労連ニュースが最優秀賞に選ばれました。



表彰状を受け取る須部事務局長